

病診連携通信

平成日高クリニックにおいて免疫細胞療法を開始いたします

現代のがん治療では外科療法、化学療法、放射線療法が標準治療とされております。それら治療による完全治癒が望ましいのですが、副作用により身体が大きくダメージを受けてしまう場合も多く見られます。『免疫細胞療法』が注目を集めているのは、個々の症状に合わせた治療(活性化自己リンパ球療法、樹状細胞ワクチン療法、樹状細胞ワクチン療法+ α β T細胞療法)が可能なオーダーメイド医療であり、従来の標準治療法との併用による相乗効果も報告されております。

この様に、様々な効果が期待されている免疫細胞療法を群馬大学放射線科・瀬田クリニック(東京)・日高病院・平成日高クリニックによる連携体制で開始致します。お気軽にご相談ください。



診察・治療医療機関
平成日高クリニック

診察日・時間
毎週木曜日 10:00~17:00

相談・予約窓口
電話:027-361-1215
担当:受付(金井・斉藤)

免疫細胞療法の情報
<http://www.j-immunother.com/>

免疫細胞療法を担当する医師を紹介いたします

金子 亨 医師



【経歴】

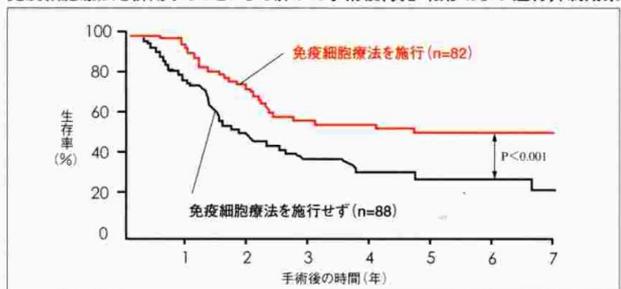
昭和60年 新潟大学医学部卒業
昭和61年 新潟県立中央病院勤務
平成2年 県立がんセンター新潟病院勤務
平成4年 新潟大学医学部 産婦人科学教室
平成6年 医療法人なごみ会 三井病院副院長
平成11年 医学博士取得「AgNORs測定による卵巣悪性腫瘍の予後解
平成14年 新横浜メディカルクリニック(現 瀬田クリニック新横浜)院長

【免許・資格】

日本癌治療学会
日本免疫学会
日本産婦人科学会
日本免疫治療学研究会
日本産婦人科学会専門医
日本医師会産業医

免疫細胞療法は他治療との併用による効果が報告されています

免疫細胞療法を併用することによる肺がん手術後再発・転移および進行抑制効果



千葉県がんセンター-医療局長 木村秀樹先生が米国「Cancer」誌(1997)で発表したデータを参照
千葉県がんセンター-医療局長 木村秀樹先生が米国「Cancer」誌(1997)で発表したデータ参照

免疫細胞療法は、ほかの治療と併用した際に治療効果が向上することが報告されています。左図は、肺がん手術後の免疫細胞療法の効果検証をしたものです。免疫細胞療法を併用した82名は5年後生存率54.4%、併用していない88名の場合は、33.4%と生存率に大きな差が認められています。

放射線治療との併用による効果も大きな期待をされているところで、医師の診断により患者様の病状に応じた当院の集学的治療を受けていただくことが可能です。

【 瀬田クリニックと共同で臨床研究を行っている病院 】

- 東京大学大学院医学系研究科 ●東京大学医学部附属病院 ●東京医科大学病院 ●名古屋大学医学部附属病院
- 順天堂大学医学部 ●国立国際医療センター ●横浜市立大学附属病院 ●日本赤十字医療センター